

## I. 神奈川県内 c. 海成・河成堆積物

## (4) 現地性化学合成化石群集を含む上総層群小柴層 露頭剥ぎ取り標本

標本番号 KPM-NP 22

標本名 現地性化学合成化石群集を含む上総層群小柴層 露頭剥ぎ取り標本

大きさ(分割枚数) 4枚セット

KPM-NP 22-a: 幅 1.82 m, 高さ 2.53 m

KPM-NP 22-b: 幅 1.86 m, 高さ 2.53 m

KPM-NP 22-c: 幅 1.8 m, 高さ 2.56 m

KPM-NP 22-d: 幅 2.02 m, 高さ 3.76 m

重量

KPM-NP 22-a: 36.2 kg

KPM-NP 22-b: 42.0 kg

KPM-NP 22-c: 49.0 kg

KPM-NP 22-d: 48.3 kg

形状・展示・収納状況 薄い絨毯状、短辺を軸として巻いて大型移動棚に収納

採集地 神奈川県横浜市栄区上郷町

緯度・経度 N35°21'51.6", E139°34'41.4"

標高 36 m

露頭の種別と現状 沢沿いの崖、自然露頭、植生に覆われ詳細観察は難しい

露頭面の向き、傾斜 N76°W、ほぼ垂直

走向・傾斜 N82°W、NNEへ8°～18°傾斜(間嶋ほか, 1996)

堆積物の種別 砂岩(海成層)

年代 更新世(上総層群小柴層下部)(間嶋ほか, 1996)

採集作業者 森山哲和(考古造形研究所)

採集立会い者 平田大二、松島義章

採集日 1996年6月21日

関連文献等

Kitazaki, T. and Majima, R. (2003) A slope to outer-shelf cold-seep assemblage in the Plio-Pleistocene Kazusa Group, Pacific side of central Japan. *Paleontological Research*, 7: 279-296.

間嶋隆一・北崎朋美(2003)表紙写真および表紙写真の説明. 化石, 73, 表紙-表紙裏.

間嶋隆一・館由紀子・柴崎琢自(1996)横浜市の上総層群から発見された現地性化学合成貝化石群集. 化石, 61: 47-54.

間嶋隆一(1999)日本の新生代化学合成群集の産状. 地質学論集, (54): 117-129.

Majima, R., Nobuhara, T. and Kitazaki, T., 2005. Review of fossil chemosynthetic assemblages in Japan. *Palaeogeography, Palaeoclimatology, Palaeoecology*, 227: 86-123.

館由紀子・間嶋隆一(1998)外側陸棚相の冷湧水性化学合成化石群集—下部更新統上総層群小柴層の例—. 地質学雑誌, 104(1): 24-41.

解説 横浜市栄区の「瀬上市民の森」に位置し、冷湧水性化学合成群集を産する露頭であり、横浜国立大学の間嶋研究室により詳しく調査研究が行われているフィールドである。合弁のツキガイ類、オウナガイ類などの大型二枚貝が炭酸塩コンクリーションを伴って産出する(間嶋ほか, 1996; 館・間嶋, 1998; 間嶋, 1999; Kitazaki and Majima, 2003; Majima et al. 2005など)。

剥ぎ取り標本でも多数の合弁二枚貝を認めることができる。

記録者 田口公則

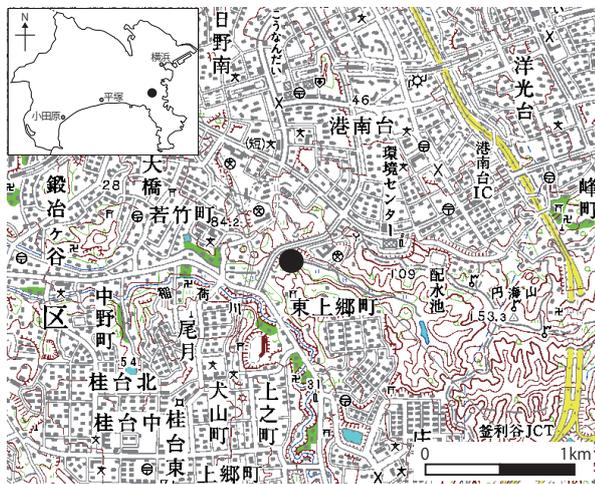


図 Ic-4-1. 採集地点(国土地理院発行の数値地図 50,000(地図画像)「埼玉・東京・神奈川」を使用)。



図 Ic-4-2. 剥ぎ取り標本の採集露頭。



図 1c-4-3. 剥ぎ取り標本の写真 (左から KPM-NP 22-a, 22-b, 22-c, 22-d).